



平成 29 年 2 月 8 日

各 位

会社名 中部証券金融株式会社
代表者名 取締役社長 湯本崇雄
(コード番号 8513 名証2部)
問合せ先 専務取締役 村瀬 洋
TEL (052) 251-1301

特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩し
及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日公表しました「自主廃業（解散）に関するお知らせ」に記載のとおり、平成 29 年 2 月 8 日開催の取締役会において、平成 29 年 6 月 26 日開催予定の第 84 期定時株主総会での承認及び関係官庁の認可等を前提として自主廃業し、平成 29 年 9 月 30 日をもって会社を解散することを決議しました。

これを受けて、下記特別損失の計上及び繰延税金資産の取り崩しを行うこととなりました。

あわせて、平成 28 年 4 月 28 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の業績予想を修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

平成29年2月8日開催の取締役会において、平成29年6月26日開催予定の第84期定時株主総会での承認及び関係官庁の認可等を前提として自主廃業し、平成29年9月30日をもって会社を解散することを決議しました。

これに伴い、平成29年3月期第3四半期において、回収が見込めなくなった固定資産202百万円を減損損失として計上すると共に、会社の解散に伴い発生が予想される従業員に対する特別退職金176百万円を特別損失に計上しております。

また、上記取締役会において、所有する有価証券につき価格変動リスクを回避すると共に債務の弁済を円滑に行うため、その大半を売却することを決議したため、平成29年3月期第4四半期に当該売却にかかる売却損380百万円を特別損失に計上する予定です。

2. 繰延税金資産の取り崩しとその内容

上記特別損失の計上及び今後の業績の見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、繰延税金資産を全額取り崩すこととし、平成29年3月期第3四半期において50百万円の繰延税金資産を取り崩し、同額を法人税等調整額に計上いたします。

3. 業績予想の修正

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|-------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想（A） | 800 | 150 | 180 | 130 | 163.83 |
| 今回修正予想（B） | 680 | 50 | △50 | △860 | △1,083.78 |
| 増減額（B - A） | △120 | △100 | △230 | △990 | |
| 増減率（％） | △15.0 | △66.7 | — | — | |
| （ご参考）前期実績 （平成28年3月期） | 864 | 196 | 259 | 173 | 218.71 |

平成27年10月1日付で普通株式5株を1株の割合で併合したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算定しております。

修正の理由

平成29年3月期第4四半期において所有する有価証券の大半を売却する予定であり、これに伴い有価証券運用にかかる収益の減少が見込まれること、及び平成29年3月期第3四半期及び同第4四半期における特別損失の計上（上記「1.」参照）により、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益が前回発表を下回る見込みとなりましたので、業績予想を下方修正いたします。

※業績予想は本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以上